

がん哲学外来とは・・・

がん哲学外来とは、現在、順天堂大学名誉教授の樋野興夫氏が発起人となり、2008年に誕生しました。

医療現場と患者や家族との「隙間」を埋める活動です。

現在、メディカルカフェの活動は、メディアにも取り上げられ、日本全国に広がっています。

多くの方は自分や家族ががんになった時、死を意識し、同時に、自分がいかに生きてきたか？これからどう生きるか？命が終わるまで何をなすべきか？を考えます。

一方、医療現場では治療に費やす時間で手いっぱい、患者や家族の精神的な苦痛を軽減するための「対話の時間」がなかなか取れないのが現状です。

そんな医療現場と患者や家族との「隙間」を埋める活動がメディカルカフェです。

メディカルカフェにいらっしゃる方は、がんの治療中の方、がんを経験した方、そのご家族の方、そして医療関係の方たちです。

みんなが同じテーブルでお茶を飲みながら、様々なお話をします。

自分の生きてきた道を話したり、今の気持ちを話したり、自分にとって何が大きかを話したり・・・いろいろです。

発起人の樋野先生は、こんな言葉を語られました・

「病気であっても、病人ではない」。「解決はできなくても、解消はできる」。「がんであっても、尊厳を持って私たちの人生を生き切る。」

メディカルカフェは、一緒にお茶を飲みながらゆっくりと『対話』をします。

自分の人生を、自分らしく送れるように寄り添う場です。お気軽にお立ち寄りください。

【お問合せ先:担当】

がん哲学外来市民学会

認定コーディネーター:小野

電話:090-2170-6161

【留守電にメッセージをお願いします】

Mail: celeste.gantetsu@gmail.com

